

1993年3月1日～2019年2月28日の間に 当科において透析腎に発生した腎細胞がんと診断され、治療を受け られた方へ

—「川崎医科大学における透析腎癌症例の臨床病理学的検討」へのご協力のお願い—

研究責任者 川崎医科大学泌尿器科学 特任教授 宮地禎幸
研究分担者 川崎医科大学泌尿器科学 講師 海部三香子
川崎医科大学泌尿器科学 大学院生 月森翔平

1. 研究の概要

川崎医科大学附属病院で透析腎に発生した腎細胞がんと診断され、治療を受けられた患者さんについて診断時の腎の状態と手術標本の結果がその後の治療経過にどう影響するかをさかのぼって検討する観察研究を実施します。

本研究の目的は、透析腎に発生する腎細胞癌の病理組織型の頻度とその予後に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

1993年3月1日～2019年2月28日の間に川崎医科大学附属病院泌尿器科において透析腎に発生した腎細胞がんの治療を受けられた方55名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2020年12月31日

3) 研究方法

1993年3月1日～2019年2月28日の間に当院において透析腎に発生した腎細胞がんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに透析腎に発生する腎細胞癌の病理組織型の頻度とその予後に影響を与える因子について調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、摘出腫瘍の病理診断結果、腎細胞がんの治療およびその成績等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学泌尿器科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の

資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、（2019年8月31日までの間に）下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 泌尿器科

氏名：宮地禎幸

電話：086-462-1111 内線 44505（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-462-1199

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。